

事業	事業項目	内容	担当	月													備考（活用予定の補助金等）	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
人財育成事業	新入社員から中堅社員まで一貫した教育によって生産性の高いエンジニアを養成するとともに、産学連携による教育カリキュラムによって先進技術を活用できる高度IT人材を育成する		人財育成（委）															
	新入社員向け研修（認定職業訓練） (IV-3-3.2-(1))	各社のニーズをもとに新入社員の個人の技術力・理解度を高める内容に技術系コースの再編を行ったうえで、「認定職業訓練」として実施する。 【テーマ】 ①ビジネス基礎養成 4月5日(月)～4月14日(水) ②システム開発技術者育成 4月15日(木)～6月3日(木) ③業務システム開発プロジェクト演習 6月4日(金)～6月24日(木) ④フォローアップ研修 8月31日(火)～9月1日(水)	人財育成（委）		実施①②③			実施④										2021年度はコロナ感染症により全日程をオンライン化し、感染問題もなく計画通り完了した。 (アシスタントの増強や配信用会場など運営側の負担大) ①ビジネス基礎養成コース 14社/58名 ②システム開発技術者育成コース 11社/34名 ③プロジェクト演習コース 10社/28名 ④フォローアップ研修 8社/31名 <令和4年度申込数(募集中)> ①ビジネス基礎養成コース 4/4-4/13 12社/48名 ②システム開発技術者育成コース 4/14-6/2 8社/35名 ③プロジェクト演習コース 6/3-6/23 7社/31名
	ステップアップ研修 (IV-3-3.2-(3))	新入社員研修後の継続的な教育サポートによって技術・知識の定着を図るステップアップ研修を実施する。(2テーマ予定) また、先進技術を用いた実践的研修で高度ITエンジニアを育成する。 前年度テーマ JavaScript+Node.js	人財育成（委）							準備						○実施(1)		①「フロントエンジニア育成 Node.js集中講座」 1/20、25-26 7社8名(定員15名) ②「Javaステップアップ研修 Java SE8新機能」 2) 2/24-25 募集中
	中堅社員向け研修 (IV-3-3.2-(3))	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネジメント力の向上等に関わる実践的研修を実施する。(2日×3コース) 前年度テーマ ①プロジェクトマネジメント初級 ②人に教える技術 ③SEのためのチームマネジメント研修	人財育成（委）					準備			○実施(1)							①「アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修」 10/14 9社15名(定員20名) ②「SEのためのチームマネジメント研修」 11/2-9 12社16名(定員20名) ③「プロジェクトマネジメント研修【初級】」 1/12-13 8社12名(定員20名) 最低実施人数以下の実施などで参加費で賄えない分を委員会予算で負担(事務局承認)
	次世代研修	トップリーダーの講演を通して、次世代に求められるスキルや考え方を学ぶ。(1日×2回コース)	人財育成（委）		準備					○実施(1)								
技術紹介 (IV-3-3.2-(4))	先進技術(AI・データアナリティクス、IoT、ブロックチェーンや情報セキュリティなど)や話題のエンジニアの講義・講演等による技術紹介を実施する。 前年度テーマ ①今こそ知っておきたいDX 地方・中小企業での実践事例 ②AWSの基本が1日で学べる超入門講座	人財育成（委）		準備					○実施(1)									①「DX実践研修・オンライン体験会」 6/22 40名 ②AWSセミナーを企画中
外部連携	外部連携スキーム検討	技術革新のスピードが速く社会人が業務上必要な知識や技術をアップデートする新たな研修スキームを検討する。 ①教育機関等と連携した研修スキームの検討 ②関連業界と連携した研修スキームの検討 ③技術者が集まり先進技術を扱えるコミュニティの検討	人財育成（委）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		本年度は教育機関等と連携した研修スキームを検討中。

(注)1.事業項目欄の○内は事業計画書本文の項目Noを示す。